

医療安全推進委員会

委員長：島田 賢一

委員：岡崎 睦、竹内 正樹、根本 充、日原 正勝、四ツ柳 高敏

開催年月日：2019年11月14日，メール委員会を適宜開催。

主な議題：1. 小耳症彫刻刀使用に関するアンケート調査

2. 新型コロナウイルスに対する日本形成外科学会提言作成

3. 在宅診療における局所陰圧閉鎖療法適正使用ガイドライン作成

活動の概要：

1. 小耳症施行施設に対して彫刻刀使用に関するアンケート調査を行った。彫刻刀使用状況は各施設さまざまであり，医療安全推進委員会としては，その使用に関しては各施設の裁量に委ねるべきであるとした。
2. 日本形成外科学会としてCOVID-19の対応に関するの意見発出の必要性について提案され，医療安全推進委員会および理事会での協議を経て，「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)への形成外科診療の対応について」を4月9日，「同，第2報」を5月22日に発出した。
3. 本年2月に厚生労働省より，在宅において局所陰圧閉鎖療法を導入するにあたり，安全性を確保するための適正使用ガイドライン(特に適応および実施要件について)の作成を依頼された。医療安全推進委員会および理事会で協議し，在宅医療における「局所陰圧閉鎖療法」の適正使用に係る適正使用指針の策定し6月4日に以下をホームページに掲載した。

〈実施者要件〉として看護師等(創傷管理関連の特定行為研修を修了したもの，もしくは日本看護協会が定める皮膚・排泄ケアに関する認定看護師教育過程を修了した者に限る

〈実施に関する留意事項〉として創傷治療および陰圧閉鎖療法の十分な経験のある医師(形成外科専門医等)の指示の下で実施し，当該医師と十分な連携を図ること。